

# 秋田県立 西仙北高校PTA会報 第55号



●発行 秋田県立西仙北高等学校PTA  
●印刷 (有)三浦印刷



3年A組

2020年3月1日発行

- |                             |              |
|-----------------------------|--------------|
| 卒業にあたって                     | .....(2).(3) |
| 各部の活動を振り返って                 | .....(4).(5) |
| PTAの活動報告                    | .....(6).(7) |
| PTAのあゆみ                     | .....(7)     |
| デンマーク研修に参加させて・進路状況・<br>編集後記 | .....(8)     |



3年B組



3年C組



1年生入学式 西仙北高校に仲間入り



2年生修学旅行 たくさんの思い出ができました



## エール～未来に輝け、令和元年度卒業生～

PTA会長 武藤 勝徳

3年生の皆さん、そして保護者並びにご家族の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。

さて、今年度は「平成」から「令和」へと年号が変わる節目の年でした。令和初の卒業生になられた皆様に、社会人の先輩として一言応援の言葉を贈りたいと思います。

令和初年度、縁あって卒業を迎えた皆さんは幸せだと思います。それは、何事も「初」だからです。「令和初進学」「令和初就職」……。私は「初」という言葉がつくことで「心機一転初心に返り、無心になって頑張る」ということが出来ると考えます。

そして、今年の干支は十二支の最初である「子」年に当たります。過去12年間の自分の歩みを振り返り、過ちは反省し、伸ばせるところは際限なく成長させ、新たな12年を歩み始める年となることが出来ます。

運良くそのような年に人生の大きな一步を踏み出す皆様にとって、何事も「初」というのはプレッシャーになるかもしれません、反面それはチャンスでもあるのです。この上ない幸せなことだと私は思います。

今、世の中はめまぐるしく変化を続けています。「自分」を客観的に見つめて生きることがチャンスを掴むことにつながるはずです。そして、その先には明るい未来も待っているはずです。ただし、簡単には得られません。未来を掴む努力を惜しまなかつた者、挑戦し続けた者だけが希望の光を少しずつ手にすることが出来るのだと私は信じます。壁にぶつかることを恐れないで下さい。大いに悩んで下さい。時には周囲の助けを借りながらでも必ず自分で解決方法を探り当てることが出来るはずです。これまで支えてきて下さった全ての方々への感謝の心を忘れることなく新たな人生へ歩みを進め挑戦し続ける人であって欲しいと思います。

終わりに校長先生をはじめ職員の皆様、PTA全会員の皆様に心より感謝申し上げます。



## 「青い鳥仕事」と「雪かき仕事」

校長 佐藤 智和



保護者の皆様には、これまでのご協力とご理解に深く感謝申し上げます。

さて、現代思想家の内田樹氏は著書「下流志向」の中で、若い人が追い求めがちなロマンが感じられ革新的な仕事を「青い鳥仕事」、日常的ではぱっとしないけれど誰かがやらないといけない仕事を「雪かき仕事」として、次のように論評しています（要約）。

—「青い鳥」を探すのは悪いことではないが、みんなが「青い鳥」を探しに出て行ってしまったら、あの始末は誰がするのか。「雪かき仕事」をする人は朝早く起き人知れず雪を寄せるから、誰もその人を知らないし、当然感謝される機会もない。でも、この人が雪かきをしなかったら、歩く人の中には転んだけがをする人がいるかもしれない。そういう仕事をきちんとやる人がいないと、世の中は回ってゆかない。「青い鳥」を探しに行く人たちには、この「雪かき仕事」に対する敬意が欠けているのではないか。「自己利益の最大化」を求める生き方がよいのだという言説はメディアに溢れているが、「周りの人の不利益を排除しておくよう」目立たない仕事も人間が集団として生きてゆく上では不可欠の重要性を持っていることはあまりアナウンスされない—

氏の説をもとに学校での生徒の活動を見てみると「雪かき仕事」に満ちあふれていることに気付かされます。委員会や生徒会活動はまさしくその通りだし、清掃活動はその最たるものでしょう。

学校で、授業やキャリア教育が行われるのは、生徒一人一人に幸せになってもらいたいからです。言うなれば「自己利益の最大化」を目指させている訳ですが、そればかりではありません。「雪かき仕事」のよう仕事も大切だと教える場もあります。卒業生には、世の中は学校とまったく違う世界なのではなく、学校の延長上にあるんだよっていうことを知っておいてほしいと思います。学校で得たことを大切にして生きていってくれることを願わずにはいられません。

## 卒業にあたって

3学年部長 嶋峨 寿



西仙北高校をご卒業される3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今ふり返ってみると、子どもの高校生活3年間は本当にあつという間だったなと感じております。入学当時、引っ込み思案でほとんど自分から話すことがないわが子が、高校生活を送れるのかなととにかく心配をしていましたことを思い出します。しかし学校生活を経験していく上で、少しずつ自分から学校での出来事を話すようになります。3年生になってからは、自分の将来の事を話すなど、本当に小さいことかもしませんが親としては大変うれしかったことを覚えております。良き環境の中で、良き友、先生に出会うことができたおかげだと感謝しております。

これから子ども達は、それぞれが自分の目指すステージに進んでいくことになります。その先にはもちろん、楽しいこと、うれしいことがあるのと同時に、辛い事、厳しい事があるのも現実です。そんな時、子ども達には、学校で学んだ事や経験をいかし、自分を信じて乗り越えていって欲しいと思います。また、保護者の皆さんからは子ども達の応援団として、時には見守り、時には支えてもらいたいと思います。

最後になりますが、校長先生をはじめ先生方には3年間、熱意を持ってご指導いただいたことに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

## 感謝

3年部主任 加藤 英明



保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。皆様にとってこの3年間はどのような月日だったでしょうか。本校の場合は遠方から通う生徒も多く、通学させるだけでもたくさんのご労苦、ご負担があったと思います。また日々の生活の中でお互いの意見をぶつけ合う機会も一度や二度ではなかったと思います。しかし日々たくましく成長していく様子を見ることは、何事にも代えることのできない喜びだったのでないでしょうか。

卒業生はいよいよ4月からはそれぞれの進路先に飛び立ち、大いに存在感を發揮してくれるものと確信しております。ただ、高校卒業とはいえ、今後はこれまで経験したことのない事柄にぶつかっていくことになります。自分を理解し、支えてくれる家族の存在は心強いものとなるはずです。私たち学年部職員も引き続きひとりひとりのサポーターとして、その奮闘を見守っていきたいと考えております。

最後に、学年部の指導に対してご理解とご了解を賜り、誠にありがとうございました。生徒とのやりとりで苦労することもありましたが、保護者の方々からのご協力を頂くことで、これまで指導できました。改めて感謝申し上げます。

新しい時代令和の最初の卒業生である72名の今後の活躍を祈念し、保護者の皆様への感謝の言葉とさせていただきます。

## 私の高校3年間

生徒会副会長 小松 紀穂

私が3年間の高校生活を無事に送ることが出来たのは、家族、友人、先生方の存在があったからです。

私は1年生の時から生徒会の活動に携わってきました。1・2年生の時は執行部員として、3年生になってからは生徒会副会長として活動してきました。生徒会の活動を通して様々な体験をすることで、それまでの自分に足りなかった「積極性」を高めることが出来たと感じています。学校行事を運営する度に、他の役員や執行部員らと協力し、前年の活動を見直し問題点を洗い出して解決策や改善策を協議したことで、よりよい運営が出来たと自負しています。生徒会での活動は今後の進路でも活かせる良い経験となりました。

部活動は2年生の時から書道部に所属し、先輩が引退してからは一人で活動してきました。小学校1年から書道を習い始め、高校では思うような結果を出せない時の方が多かったとは思いますが、悔いを残さず終えることが出来たと思っています。

思うようにならないことも多く、悩みを抱えることもありました。友人や周囲の多くの方々に支えられながら今日、卒業を迎えたことに感謝し、今後は更に自分自身を成長させ、社会に貢献できる大人をめざして精進していきたいです。

# 各部の活動を振り返って

これまでのご指導ありがとうございました!!

## 美術部

保護者代表 佐藤 宗悦

入学後、美術部に入ったと聞いて「がんばりなさい」と一言いいましたが、心の中で部活動続けていいけるのか心配でした。2年になって、部長になったと聞いてとても心配しておりますが、先生方のご指導、後輩の協力等のおかげで一年間やってこれました。

この経験は、社会に出てからもきっと役立つものと信じております。部活動として、秋田市内の美術展の出展、見学等いろいろな事がありました。3年生は卒業されますが、後輩部員のみなさんこれからも美術部を盛り上げて頑張って下さい。チームワークが一番!

部員代表 佐藤 翔琉

この1年間の活動を振り返ると、高校美術展では5人も入選することができたのでとってもうれしかったです。また西高祭では、自分たちの役割を決めてスムーズにできたのでよかったです。次の西高祭でもうまくいくように頑張りたいです。

## 茶華道部

保護者代表 佐々木 成生子

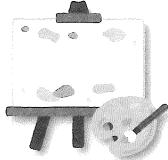
茶華道部に入りたいと聞いた時には、正直驚きましたが今まで本格的にやった事がなかつたので自分から言い出したことにうれしく思いました。一つ一つの作法を覚え行動に移すのには新しい体験だったと思います。

文化祭で先生のとなりでお茶をたててくれて頂いた時とてもおいしかったこと!

華道も今までになかった体験でした。部活があつた日には使つた花を持ち帰りいろんな話をしてくれました。日常では披露する事も少ないので、いつかあんな日もあつたなこうやつたよなって思い出してくれると嬉しいです。作法を教えてもらひ覚えたことは一生の宝物だと思います。なかなか茶華道をやる機会がなかったので教えていただいた先生方には感謝いたします。ありがとうございました。

部員代表 鏡 桃花 私たち

はこの一年のお稽古を通して、立ち居振る舞いや作法など、様々なことを学ぶことが出来ました。特に茶道のお稽古では作法を覚え動くだけではなく、「心」も学ぶことで心身ともに穏やかでいることが大切なのだということを知りました。



## 吹奏楽部

保護者代表 太田 真由美

小学6年生から始めた吹奏楽部。高校でも続けたいと聞いて、親としては正直帰宅時間も遅くなるし、勉強との両立ができるのだろうかと不安に思いました。3年生にその不安を吹き飛ばすように、3年間続けることができました。3年生になってからは部長となり、不器用な娘なりに時には悩みくじけそうになつた事もありましたが、最後の県南コンクールでは、部員一丸となって、堂々とした演奏をする事ができました。

この3年間の部活動で学んだ事が、きっと社会人となってからも活かされることであろうと思います。

あつという間の高校生活、1・2年生の皆さん、これからも日々の努力を大切にし頑張って下さい。そして顧問の先生、本当にありがとうございます。



部員代表 太田 小雪

今年は1年生が3名入り、合計8名で活動してきました。最後のコンクールでは良い結果は残せなかつたのですが、本番での演奏は今まで一番良い演奏をすることができたと思います。1・2年生のみなさん、来年に向けて頑張つて下さい。



## 書道部

保護者代表 小松 一彦

書道部へ入部した時は、先輩と2人でした。その後は入部する人もいなく、先輩が引退してからは1人で活動する事になりました。個人の活動が多い部活とはいえ、仲間がないで寂しい時間もあつたと思いますが、様々な大会に向けて出品作品に取り組むことができました。書道にはいくつかの種類の書体があるそうです。今は、便利なパソコンがありますが、一字一句集中して書くことによって集中力を高めることができました。

今日まで、マイペースな活動を温かく見守りご指導頂き、先生には大変感謝しております。色々な経験を糧に成長してほしいと思います。本当にありがとうございます。



部員代表 井上 采華 私たち2年生は3年生の先輩の引退後に入部し活動を続けています。先輩のように上手くは書けませんが、近づけるよう日々練習に励んでいます。その結果、高校総合美術展の書道部門では、推奨と入選をいたたくことができました。これをはげみにこれからも頑張ります。

## ボランティア同好会

保護者会代表 福田 晴有

高校に進学して早く3年がたちました。入学時には何でも良いので部活動に入った方が良いと一言だけ言いました。

本人がボランティア同好会に入会してきたと聞いた時に、自分が決めた事だから最後まで続けなさいと言った記憶が昨日のようです。

同好会に入会して他校の生徒さんや幅広い年代の方々とふれあう機会にまた3年間ご指導してくださった先生方、ご助力を頂いた方々へ心より感謝致します。

これから先、3年間ボランティア同好会で培つた思いやりの心、助け合いの精神を今後も忘れず大切にし、活躍・飛躍をしていくもらいたいと思います。

在校生の今後の活躍と飛躍を心よりお祈りしております。

部員代表 佐藤 大輝 1年間の活動を振り返ると、後輩との絆が大切な年でした。2年生部員は残念ながらいませんでしたが、1年生とのコミュニケーションを充実させながら活動する事ができ、良い経験になりました。社会人になってからもこの経験を活かしていきたいです。



## サッカー部

保護者会会長 高橋 雪江

卒業おめでとうございます。今年度は部員の減少により、決して楽な戦いが出来なかつた年だつたと思います。シーズンを通し、戦績もいい結果を出す事が出来ませんでしたが部員一人一人が技を磨き技術向上に向け頑張った姿は素晴らしいものだと思いますが、培つた技術・経験を活かし更なる飛躍に期待しております。ご指導いただきました石山先生、加藤先生には大変お世話になりました。保護者の皆様もお疲れ様でした。感謝致しております。

部員代表 木村 大地 この3年間の活動を通して本当に様々な経験先輩達のよう

に強かつた訳

ではありませんが、チーム一丸となって戦えたことが今ではいい思い出になっています。いつかまた皆とプレーできる日を楽しみにしています。



## 野球部

保護者会会長 高橋 広伸

入学とともに野球部に入部し毎日厳しく辛い練習に耐え、最後までやり遂げたことを嬉しく思います。

目標をもって野球をし、一つずつクリアしていく姿は、とても頼もしく見えました。選手17人、マネージャー2人という人数で毎週の練習試合、大会を戦うのは大変だったと思います。その分色々なポジションをこなし大変さを経験出来たのではないでしょうか。決して強いチームではありませんでしたが、温かい監督の元、素晴らしい仲間達と一緒に好きな野球が出来て幸せだつたと思います。私達、保護者会も良い人柄の方々に恵まれ、とても有意義な活動が出来ました。本当に有難うございました。

子供達には、この経験を生かし、何事も諦めず最後までやり遂げる人間になれるようこれからも見守つていこうと思います。

みんなのこれから活躍を期待しています。三年間お疲れ様でした。

部員代表 佐々木 翔大 私たち野球部は、ここ数年遠ざかっている公式戦勝利を目指して活動してきました。春の大会は一勝することが出来ましたが、夏も秋の大会もあと一歩のところで悔しい結果となってしまいました。

私たちの学年は個性豊かな部員ばかりで監督

には迷惑を掛け通しましたが、みんなが笑顔で終えられたの

は監督のおかげだと感謝しています。



## バスケットボール部

保護者代表 今野 京子

中学校から始めたバスケットボールを、高校でも続けるという気持ちで入部しました。経験者・未経験者とそれぞれ練習に取り組み、2年生になると部活を終えてから、帰宅後も仲間と共に走り込みにも出かけていました。練習試合では勝利しても、公式戦ではなかなか結果を出せずにいましたが、努力が実り、2年生のウインターカップ県南地区大会では、一勝をあげることができました。

バスケットボール部を通して、困難と思う事でも挑戦を続け、練習、努力する結果を残せることを実感できたと思います。また監督や素晴らしい仲間に出会えた感謝の気持ちを忘れず、仲間を信じて取り組みやり遂げられたことを嬉しく思います。今までの経験を活かして、社会の一員として、人生に活かしてほしいと思います。今までありがとうございました。

部員代表 佐々木 啓人 部員も少なく怪我も許されない中で、前年と同じく公式戦1勝を目標に練習を重ねてきました。厳しい条件の緊張感ある中でプレーをし続けられたことが今では良い思い出となりました。



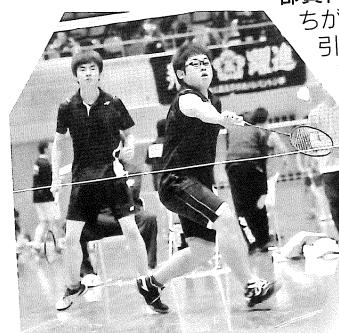
## バドミントン部

保護者代表 小野寺 久美子

バドミントン部に入部してから引退するまでの2年半は、あつという間だったと思います。ラケットのガットを何回も張り替えた事、大量の洗濯物を洗つたことが懐かしく感じられます。3年生が2人だけの部活でしたが、最後まで続けてやり遂げた事を誇りにして下さい。3年間お疲れ様でした。バドミントン部の皆さんのお今後の活躍を楽しみにしております。

卒業おめでとうございます。

部員代表 高橋 和也 最初は、先輩たちが引退していく、これからみんなを引っ張っていくという不安な気持ちでいっぱいでしたがいつも以上に厳しい練習をがんばり、その結果、県南新人団体戦では3位をとることができました。3年生最後の大会が近づくにつれてみんなで勝ちとろうという気持ちが高まり、悔いの残らない試合をすることができました。バドミントン部員のみんな、本当にありがとうございました。



## バレー部

保護者代表 武藤 春美

中学三年の夏、西仙北高校の体験入学の部活動見学の際、中学時代の顔見知りの先輩に声をかけられたことが始まりの三年間。入部してすぐにはコートに入れなかつた悔しさがあつたからこそ今なのかもしれません。

先輩が引退し人数不足のため、三校合同チームで臨んだ新人戦。各校人数不足で練習らしい練習ができず、合同で練習できるのも週一回の数時間。そんな中での県南5位入賞、そして全県大会での一勝。所詮合同チームだろうと言われながらもこの一勝はとても価値のある一勝でした。どんな時にもバレー部の練習に手を貸してくれた友達、部活は勿論、いろんな相談に乗つてくれた監督、そして西校バレー部に携わつてくれたすべての方に感謝です。ありがとうございました。

部員代表 武藤 瑞穂 部員数が少なく、公式戦は合同チームとして出場してきた一年間でした。大変なことが多くあり悩む時期もありましたが、最後の試合はチーム一丸となり最後まで諦めずに頑張ることができました。



約一年半、主将についてきてくれた後輩には感謝します。また、先生方や保護者のおかげで三年間頑張ることができました。ありがとうございました。



## 女子ソフトテニス部

保護者代表 小柳 光子

中学校でもソフトテニスをやっていましたが、入部した當時は部員も多く真崎奈が入部したことで丁度良くペアが組めて喜ばれたようでした。当時は練習も活発にできましたが、先輩方が卒業して1ペアになり、遂に1人になつてしましました。入部して部活を続けるのは淋しくもあり、大変だったと思います。いつも見守つて下さった小林先生や時々練習相手になつてくれた友だちや先輩には、本当に感謝しています。ソフトテニスに限らずこれからの運動部は、少子化の大波にモロに揉まれていく運命にあると思いますので、何かと皆さんで知恵を出し合い頑張つていってほしいと思っています。



部員代表 小柳 真崎奈 2年生になって部員が1人になつてしましましたが、練習では自分の直すべきフォームや練習方法を見つけることができたと思います。時々先輩が練習に付き合つてくれたのでよかったです。試合に出ることは少なかったのですが、試合で通用するようなサーブやボレーなどを続けて打てる時が多かつたので試合を意識できていたと思います。

## 西高祭PTA屋台大成功！

PTA役員 中田 留美

西高祭に初めて参加しました。会議でフランクフルトを販売するとき、初めは大丈夫かなと不安もありましたが経験のある方の話を聞き、西高祭を成功させようと思いました。

当日、皆が一丸となって作る姿もあり、思いが一つになったと思います。その結果、すべて販売することができました。うれしく思います。そして地域の方々や、先生、西高生の思いがあると思います。親が参加することで、普段見ることのない子どもの姿を見れてうれしく思います。私は大成功だと思っています。

これからも西高生にも頑張ってほしいと思います。子どもには力があります。自立の力を信じて前に進めるように応援していきたいと思います。力は無限です。ありがとうございました。



## 東北高P連に参加して

PTA副会長 進藤 光左子

7月4日～5日にかけて、大会出席のため、山形に行って参りました。東北6県の参加人数は570名ということで、PTA活動に携わっている方が、こんなにも沢山いるんだなと人の多さに驚きました。

今回の大会のテーマは『一人ひとりの個性が奏であう未来へ』～自立 協働 創造をめざして～というものです。いろいろな話題に耳を傾けると、自分の考えや学校の状況に合わせ、活かしていくことがみると改めて思える2日間でした。このような体験をさせていただけたことは、役員をやっていたからだと思います。良い経験をさせてもらいました。



## 第32回母親大会に参加して

PTA評議員 木元 香苗

9月20日、秋田県高等学校PTA連合会が主催する「第32回母親会員交流会」に出席する機会をいただきました。

開会行事の後、『笑顔に勝る美人なし』と題して、藤田保隆さんの講演がありました。途中ピアノを演奏したり、頭や手の体操を取り入れたりしながら進む話に、どんどん引き込まれ、楽しく笑顔で過ごすことができました。

午後はグループ討議でした。私たちのグループは、初対面とは思えないほど意気投合し、時間を忘れ夢中になって話をしていました。そこで、交流会終了後にグループラインを作り、今でも連絡を取り合っています。

PTA活動に参加できるのも残り少ないので、今回参加させていただいたおかげで新たな出会いにも恵まれ、とても良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。来年は皆さんもぜひ参加してみませんか。お薦めします。

## 県南地区PTA交流大会に参加して

総務部 千葉 智子

9月23日に「未来を創造する子どもたちへ」という研究主題のもと、湯沢ロイヤルホテルを会場に「秋田県高等学校PTA連合会県南地区PTA交流大会」が開催されました。

午前は、トータルサポートスクールリード学舎代表の阿部浩美氏より、キャリアコンサルタントの立場から「保護者と学校を繋げたい」という演題で「伝えること」の大切さと難しさについて講演がありました。講演を聴くだけではなく、実際に言葉をリフレーミングしてみることで、見方を変えると表現も変わることを体験することができました。

午後は3つの分科会に分かれてテーマ毎の提言の発表や質疑応答が行われました。SNSとの関わり方というテーマで行われた分科会では、保護者自身がメリットやデメリットを見極めた上で、ルールを設けて使用させている例も発表されて、大変有意義な時間を過ごすことができました。

## PTA研修に参加して

PTA評議員 鈴木 恵子

11月18日PTA研修が行われました。午前は、かみおか嶽雄館にて「こけし絵付け体験」。南外の伝統工芸『又五郎こけし』九代目のハ島さんから指導して頂きました。筆使いはコツを掴めば戦苦闘。一回勝負の顔描きは真剣そのもの！モノづくりの難しさと楽しさを体験しました。

『ひのや』で先生と情報交換をしながらの昼食は学校での子供の様子を知る良い機会となりました。

午後からは『大曲仙北広域中央ゴミ処理センター』を見学。搬入された生活ゴミの多さに驚きました。意識してゴミを出さない生活の工夫を心掛けようと思います。貴重な体験と有意義な時間をありがとうございました。

## 校外指導活動を振り返って

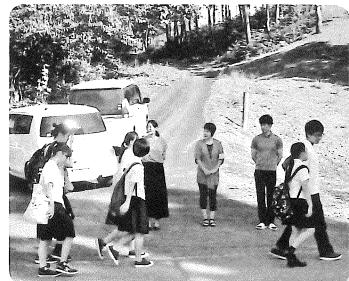
PTA副会長 伊藤 元夫

今年は朝の挨拶運動を6月、10月に実施した他に、初の試みとして、9月に刈和野駅周辺で、下校途中の生徒の確認も行ないました。

挨拶については、最初から挨拶を返してくれる生徒は少なく、回を重ねる毎に挨拶を返してくれるようになりました。

私の高校生時代を重ねてみると、挨拶は簡単だからと思いながら、実際は出来ておらず、寮生活を通して身に付けていった記憶がよみがえりました。在校生の皆さんも何年後かには社会人となり、挨拶だけは誰にも負けない気持ちを持っていただきたいです。

最後に、校外指導に御協力いただいた先生、PTAの皆様1年間ありがとうございました。



## 優良賞を受賞して

PTA副会長 嵐 勝

5月に開催されました高P連定期総会の中で、秋田県高等学校PTA連合会広報誌コンクールの授賞式が行われ、当校PTA会報が昨年に続き、優良賞を受賞し表彰されました。広報誌の作成には「楽しんで見て、読んでもらえる広報誌」を目指し、総務部会で知恵を出し合いながら構成等を考えてきました。このような賞をいただけたことを大変うれしく思っております。あわせまして、今回の受賞は、大変お忙しい中で快く寄稿してくださいました皆様のおかげと思っております。本当にありがとうございました。



## PTAの歩み

### 4月

- 22日 ..... 第1回評議員会 ※評議員8名出席
- 26日 ..... 総会 ※PTA会員10名出席

#### 新役員の選出

- 会長 武藤 勝徳
- 副会長 嵐 勝
- 会計監査 中田 留美、斎藤 肇、進藤奈津美

### 5月

- 17日 ..... 第2回評議員会 評議員5名出席  
所属部の決定
  - \* 総務部長 嵐副会長
  - \* 研修部長 進藤副会長
  - \* 校外指導部長 伊藤副会長

- 31日 ..... 高P連、定時総会(メトロポリタン秋田)  
※武藤会長、嵐、進藤、伊藤副会長出席

### 6月

- 7日 ..... 3学年PTA
- 8日 ..... 高P連、第1回合同委員会(大町ビル)  
※武藤会長出席

- 22日 ..... 西高祭PTA屋台出店

### 7月

- 4~5日 ..... 高P連、東北大会(山形県山形市)  
※武藤会長、嵐、進藤、伊藤副会長参加

### 8月

- 22~26日 ..... 第1回通学路指導(校外指導部)

### 9月

- 17日 ..... 1学年PTA
- 18、26日 ..... 下校時校外巡回(校外指導部)
- 20日 ..... 全県母親交流会(県生涯学習センター)  
※母親会員3名参加
- 27日 ..... 高P連、県南地区PTA交流大会  
(湯沢ロイヤルホテル)  
※武藤会長、進藤・伊藤副会長、伊藤評議員参加

### 10月

- 4日 ..... 2学年PTA
- 4~8日 ..... 第2回通学路指導(校外指導部)

### 11月

- 18日 ..... PTA研修(研修部)  
こけし絵付け体験、  
ゴミ・し尿処理センター見学  
※PTA会員7名参加

### 1月

- 25日 ..... 高P連、全県PTA正副会長会議  
※武藤会長、嵐、進藤、伊藤副会長参加

### 2月

- 14日 ..... 第3回評議員会(ユメリア)
- 28日 ..... 卒業記念品贈呈式

## デンマーク研修に参加させて

参加生徒保護者代表 伊藤 元夫

令和2年1月5日～12日迄、三春先生、進藤先生、1年A組生徒3人でデンマークのオーデンセに行きました。出発当日、大曲駅で、校長先生、教頭先生他たくさんの先生方に見送りをして頂きました。初日は時差の関係で、成田空港近くのホテル泊、翌日デンマークへ出発（時差の関係で11時間のフライト・長いなあ）

デンマーク研修へ参加したきっかけは、本人の希望であり、私も娘自身が自分の目で海外を見て、色々な事を感じてきてくれたらとの思いで参加させました。

デンマークでは、幼稚園、小学校、高齢者施設、障害者施設、市内見学（兵隊の行進を偶然に目撃）をして、ノーフュンスホイスコレの寮に2泊し、ホームステイを3泊してきました。本人の話ですと、ノーフュンスホイスコレの授業は1人1台自前のパソコン（メーカー等様々）を使い、グループで話し合いながら進めていくスタイル。多人種いるので、髪型等色々な面で規制がなく自由であり、17・5歳以上であれば入学可能だそうです。幼稚園、障害者施設を見学した時は、各自、自由に色々な事をさせて、日本のように全てを監視するのではなく、危険な事以外は必要な時だけ手助けする（解放的なイメージ）など、ビックリするような事ばかりだったそうです。

ホームステイは、2人と1人に分かれ、娘は2人で一緒にホームステイをして、協力しあって何とか過ごしていたそうです（英語よりもデンマーク語が多くかった）。1人でホームステイは不安が多かったと思いますが、やり遂げた事は凄いと思います。（私は今でも英語は苦手なので無理です。）今後も自信持って学校生活を送って下さい。

デンマーク滞在中は、食事が軽めだったそうです。

デンマークと日本の時差がマイナス8時間あるため、デンマーク到着後、初日は思うように寝ることができなかつたそうです。だんだん慣れたものの、日本に帰国後、時差ボケがとれないまま通学していました。

最後に、海外に行く機会を与えていただきありがとうございました。デンマークで感じてきた事は、個々に違うとは思いますが、3人にとっては大切な思い出となり、良い経験をしてきたと思います。今後の学校生活、そして未来へ何らかの形で反映できたら最高だと思います。デンマーク研修に携わった関係者の皆様、先生方へこの場を借りて御礼申し上げます。

## 進路状況について

進路指導主事 坂本 卓也

今年は世界の動き（米中の貿易問題や英国のEU離脱、日韓の様々な問題など）に企業の見通しが大きく左右され、右肩上がりだった経済状況にも不透明感が増した1年だった。実際に企業からの求人数は昨年より増加はしたもの、伸びは明らかに鈍っている。少子化、人手不足など、就職状況は相変わらずの売り手市場であるが、すでに新規採用を控える職種も始めており、上級学校進学者の数年後の就職について少々心配している。

冒頭から心配事ばかり並べ、不安をあおるような話にしか聞こえないかも知れないが、大事な点は別にある。それはテクノロジーが発達し、激しく変化していくこれからの時代の中で、何を武器にどう生きていくべきか、ということである。私は「人間であることの良さ＝新しいものを考え、生み出す力」がキーワードになるのではないかと感じている。

卒業生の皆さんはこれまでの学校生活を通して様々なことを学び、考え、そして決断してきました。これらの経験は皆さんの今後を支える大切な基盤となることでしょう。これからも成長を続け、社会で活躍することを祈念しています。結びに、ご子息、ご息女を慈しみ見守ってきた保護者の皆さんにお祝いを申し上げます。ご卒業おめでとうございます。

### 選手宣誓



サッカー

第98回全国高等学校  
サッカー選手権大会  
秋田県大会



野球

第101回全国高等学校  
野球選手権  
秋田大会

### 編 集 後 記

今年度もPTA会員の皆様の活発な活動の様子や生徒たちの取り組みを分かりやすく伝えられる紙面を目指して作成しました。

寄稿して下さった皆様本当にありがとうございました。

総務部一同